



◆43期生（卒業生）の活躍◆

今年の3月に卒業した43期生の進路状況は、以下の通りです。

大学：155名、短大：2名、専門学校：112名、就職・公務員：5名、その他（留学等）：18名

昨年度の3年生の進路を振り返ってみると、難関大学や、警察などの公務員試験にも合格者が複数であるなど、高いレベルにチャレンジし、合格を掴みとった先輩が多くいました。

43期生は入学時からコロナの渦中に巻き込まれ、オープンキャンパスや学校見学会も例年と比べて行けないことが多くありました。それでも彼らは、自分が何を突き詰めて学びたいのか、仕事をする上でどんな環境に身を置きたいのかを常に自問自答し続けました。そのことが、①進路における取り掛かりの早さ、②安易な道を選ばず上を目指そうという熱意、自分の決めた進路先に絶対合格するんだという強い気持ち、③自発的な生活習慣の改善、につながっていったのだと思います。

自分の進路を自分でどう形作っていくか、それは自分自身にしかできないことです（もちろん保護者や先生方はサポートはしますが）。そういう意味で43期生は自分事として前向きに進路活動を行ったといえます。

今年からは今までと同じ学校生活に戻ります。コロナを言い訳にもできません。今から生活をしっかりと整え、市柏で常日頃から大切にしている礼節をさらに重んじ、真剣に自分の将来に向き合い、進路活動を行ってください。進路指導部としても、君たちの進路実現に向け、しっかりとサポートをしていきます。

◆人生の契機◆

私事で恐縮ですが、私は高校1年の前半まで、勉強について特段目標のない子でした。真面目に勉強もしましたし、校内で高い得点もとってはいましたが、大学に進む意味を特に見いだせませんでした。ただ、高校1年の2学期のある日、クラスメートが私に言った何気ない一言でその後の人生が大きく変わることになり、現在に至ります。そのクラスメートの一言は、嫌みでも誉め言葉でも何でも無い、ただの会話上の一音でした。ただ、その一言は私にとってはものすごく大きく、それが私が英語の勉強にどっぷりとはまる契機となったのでした（私は英語の教員です）。

このように、人生には何気ない出来事や言葉がその人の人生を大きく変えてしまう契機となる場合があります。そういうことがそれぞれの人に必ず起こるというわけではないですが、普段から感受性を豊かに、そしてアンテナを高く張っていれば、きっとそういう出来事や言葉があなたの心に引っかかってくるのではないかと思います。高校3年間は人生の中でもキラキラしていて何かに熱中できる期間であると思います。これを読んでいるあなたにも、何かが変わるようなことが起きますように。そして、熱中して一つのことに取り組む、充実した高校生活が送れますように。頑張ってくださいね。